



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：救命救急センターCCM 近藤 穂堯

【研究責任者】

聖路加国際病院 救命救急センターCCM 近藤 穂堯

当院救命救急センターICUにおける身体拘束に関する研究

1.研究の対象

- ・2023年4月～2024年3月に当院でCCM病棟に入院され何らかの原因で挿入している医療装置が外れた方

2.研究の目的・方法

現在集中治療室では患者の安全を守るために身体拘束を実施する場面があります。今回身体拘束と治療のため使用している点滴などの体内に挿入されている機器類の計画外抜去（患者さんに挿入されているチューブ等が何らかの原因で抜けてしまうこと）との関連について調査することを目的としております。なお、この調査では通常保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は当法人 研究機関の長による実施許可後～2025年3月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2025年1月6日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》 病歴、性別、年齢、挿入物の種類、身体拘束の種類、意識レベル、せん妄の有無、疼痛の有無、カルテ番号等